

この4人から会社が見える

# INTERVIEW

4

2026

INTERVIEW 01  
入社2年目のリアル

INTERVIEW 02  
若手を育てる上司の想い

INTERVIEW 03  
社長が思う、これからの会社

INTERVIEW 04  
初の建設Dを迎えた現場

人を知ると、会社がわかる

# NAKATA CORPORATION



MEET THE PEOPLE OF NAKATACORPORATION.

## 「人」を知るための 一冊です。

この冊子では、中田組で働く社員の声を紹介しています。  
仕事のやりがいや成長、そして一緒に働く人たちのこと。インタビューを通して、  
会社の雰囲気や少しでも感じてもらえたら嬉しいです。  
就職活動では、仕事内容や条件だけでなく、「どんな人と働くのか」も  
とても大切だと私たちは考えています。  
この冊子が、皆さんの会社選びのヒントになれば幸いです。

## ／ 目 次

### INTERVIEW 01 入社2年目のリアル

|           |    |
|-----------|----|
| Y.SUZUKI  | 04 |
| S.SHIDA   | 05 |
| S.KATAOKA | 06 |
| S.SUDO    | 07 |

### INTERVIEW 02 若手を育てる上司の想い

|       |    |
|-------|----|
| 菅原 常務 | 08 |
| 櫛引 部長 | 09 |
| 南 部長  | 10 |

### INTERVIEW 03 社長が思う、これからの会社

|               |    |
|---------------|----|
| 代表取締役社長 中田 有介 | 12 |
|---------------|----|

### INTERVIEW 04 初の建設Dを迎えた現場

|               |    |
|---------------|----|
| 横山 課長 & 酒井 主任 | 14 |
|---------------|----|

### EDITORIAL NOTE

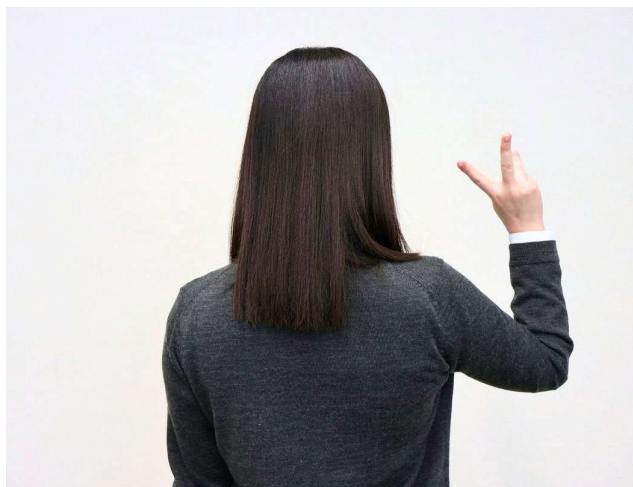
|              |    |
|--------------|----|
| メンター担当 定免 菜々 | 16 |
|--------------|----|

# PEOPLE INTERVIEW

Stories of who we are.

INTERVIEW 01 | 入社2年目のリアル：総務部

## “小さな一步の積み重ねが、自信につながりました。”



### Q1

#### 建設業や中田組に興味を持ったきっかけは？

初めて中田組を知ったのは、求人票です。家族がもともと建設業に関わっていたこともあり、興味を持って会社のホームページを見てみました。建設業というと、建物や土木など地上での工事のイメージが強かったのですが、中田組は「海の工事」を行っている所知り、とても興味を持ちました。その後、実際に会社の方から話を聞いたり、自分でも調べたりする中で、中田組の仕事に魅力を感じるようになったのがきっかけです。

### Q2

#### 仕事のやりがい、楽しいと感じることは？

私の主な業務は、電話対応や来客対応などの受付業務です。入社前は大きな声を出すことが苦手だったのですが、仕事を続けるうちに少しずつ慣れてきました。周りの方から「入社当初より声が大きくなったね」「明るくなったね」と声をかけてもらえたときは、自分の成長を感じることができ、とてもうれしかったです。また、現場巡視に同行する機会もありました。入社前にも建設業について調べていましたが、実際に現場を見て学ぶことはとても多く、日々新しい発見があります。少しずつでも建設業の知識が増えていることに、やりがいを感じています。

### Q3

#### 苦労や失敗談、難しいと感じることは？

入社して最初に苦労したのは、電話対応です。もともと声が小さく、コミュニケーションが得意ではなかったため、入社当初は「声が小さくて聞き取りにくい」と言われてしまうことがありました。自分の弱みをどう改善するかが課題でした。そこで、まずは自分から積極的に挨拶をすることや、普段から腹式発声を意識し、はっきりと声を出すことを意識するようにしました。すると少しずつですが、「声が大きくなったね」と言ってもらえることが増えていきました。この経験から、どんなに小さなことでも、地道に積み重ねていくことの大切さを学びました。

### Q4

#### 中田組って、どんな会社ですか？

優しい人が多く、いい意味で個性的な人がたくさんいる会社です。さまざまなタイプの人がいるので、それぞれの良さを活かしながら働ける雰囲気があります。また、福利厚生が充実しているところも魅力のひとつで、とても働きやすい環境だと感じています。建設業というと、建物や土木工事など地上での仕事をイメージする方が多いと思いますが、中田組では「海の工事」にも関わることができます。普段あまり知ることのない仕事に触れられるのも、この会社ならではの面白さです。

### Q5

#### もう少し、こうだったら良いなと思うことは？

ありません。

### Q6

#### 就職活動をはじめめる学生へメッセージ

就職活動は、これまでの自分と向き合うことができる貴重な機会だと思います。大変だったり、不安に感じたりすることもあると思いますが、無理をしすぎず、適度に息抜きをしながら自分のペースで進めていってください。みなさんの就職活動を応援しています。

#### PROFILE

Y.SUZUKI 株式会社 中田組 総務部 / 2025年入社

電話・受付対応をはじめ、役員秘書や経理業務のサポートなど幅広い業務を担当。明るい笑顔で来客対応を行い、会社の“顔”として活躍している。

Work with warmth. Move with purpose.

# PEOPLE INTERVIEW

Stories of who we are.

INTERVIEW 01 | 入社2年目のリアル：業務安全推進部

## “コツコツ積み重ねる仕事が、達成感につながります。”



### Q1

#### 建設業や中田組に興味を持ったきっかけは？

父が建設業に関わっていたことや、もともと機械を見るのが好きだったことが、建設業に興味を持ったきっかけです。中田組を知ったのは企業説明会でした。現場見学会にも参加し、仕事内容を知る中で「ここなら自分のやりたいことができそうだ」と感じ、興味を持ちました。

### Q2

#### 仕事のやりがい、楽しいと感じることは？

僕はコツコツと作業を進めることが好きなので、日々の業務にやりがいを感じています。時間がかかったり大変だと感じることもありますが、一つひとつの仕事を終えたときには達成感があり、そこに仕事の面白さを感じています。

### Q3

#### 苦労や失敗談、難しいと感じることは？

仕事の中で、相手の伝えたいことと自分の受け取り方、自分の伝えたいことと相手の受け取り方に少しずれが生まれてしまうことがあります。そのたびに、コミュニケーションの難しさを感じることがありますが、相手の立場に立って考えることの大切さを学んでいます。

### Q4

#### 中田組って、どんな会社ですか？

真面目で優しい人が多い会社だと思います。職場は落ち着いた雰囲気の中で集中して仕事ができ、最近はBGMも流れているので、リラックスしながら働くことができる環境です。

### Q5

#### もう少し、こうだったら良いなと思うことは？

少しずつ祝日休みが増えてきているので、今後はすべての祝日が休みになると嬉しいです。

### Q6

#### 就職活動をはじめめる学生へメッセージ

就職活動では、「やりたいことが見つからない」「どこに進めばいいのかわからない」と悩んでしまうこともあると思います。まずは企業説明会や職場見学など、いろいろな会社を見てみてください。その中で「自分に合っているかも」「やってみたい」「面白そう」と思える仕事に出会えるかもしれません。たくさん悩みながら、自分に合った仕事を見つけてください。応援しています。

#### PROFILE

S.SHIDA 株式会社 中田組 業務安全推進部 / 2025年入社

現場の安全管理に関わる事務業務を担当。コツコツとした作業を大切にしながら、現場を支える仕事に取り組んでいる。

Work with warmth. Move with purpose.

# PEOPLE INTERVIEW

Stories of who we are.

INTERVIEW 01 | 入社2年目のリアル：工務部 建設ディレクター

“現場が少しずつ完成していく過程が、この仕事の面白さです。”



## Q1

**建設業や中田組の興味を持ったきっかけは？**

稚内でオファー型の就活サービスを導入している企業は珍しく、それがきっかけで中田組に興味を持ち、インターンシップに参加しました。稚内はもともと一度訪れたことがある場所だったこともあり、親しみを感じていたのも理由の一つです。会社紹介や現場見学を通して、DXへの取り組みにも前向きで、会社の雰囲気も良さそうだと感じたため、そのまま選考に進みました。

## Q2

**仕事のやりがい、楽しいと感じることは？**

工事が始まってから完成するまで、現場が少しずつ形になっていく様子を見ることができるのが、この仕事の面白さだと思います。現場が完成していく過程を間近で感じられることに、やりがいを感じています。

## Q3

**苦労や失敗談、難しいと感じることは？**

書類作成の中で、工事が終わった後に間違いに気づいたことがありました。確認が十分にできていなかったことに後から気づき、ヒヤッとした経験です。また、最初は資材の名前が分からず、現場代理人に確認することも多くありました。資材の種類も多いため、調べながら覚えていくのが大変でした。

## Q4

**中田組って、どんな会社ですか？**

上司や先輩に気兼ねなく質問できるところが良いところだと思います。困ったときにも相談しやすく、アットホームな雰囲気の会社だと感じています。

## Q5

**もう少し、こうだったら良いなと思うことは？**

家賃補助がもう少し上がると、社宅以外の選択肢も増えるのでうれしいです。また、給湯コーナーにコーヒーはありますが、お茶の種類が増えるとさらにうれしいです。

## Q6

**就職活動をはじめめる学生へメッセージ**

自己分析や企業研究、面接対策はもちろん大切ですが、入社後の生活をイメージしておくこともおすすめです。社会人になると、趣味や買い物、通院なども学生のときより計画的に動くが増えます。住む場所や通勤についても調べておくと、入社後の生活をイメージしやすくなると思います。就職はゴールではなくスタートです。大変なこともあると思いますが、より良い未来のために頑張ってください。

## PROFILE

**S.KATAOKA** 株式会社 中田組 工務部 建設ディレクター / 2025年入社

工事現場の書類作成や情報整理などを担当。  
DXにも積極的な環境の中で、現場を支える業務に取り組んでいる。

Work with warmth. Move with purpose.

# PEOPLE INTERVIEW

Stories of who we are.

INTERVIEW 01 | 入社2年目のリアル：工務部 建設ディレクター

“ 小さな工夫が、仕事のやりがいにつながっています。”



## Q1

**建設業や中田組の興味を持ったきっかけは？**

大学のキャリア支援担当の方に勧められ、企業説明会で話を聞いたことがきっかけでした。その中で、建設業は思っていた以上に業務の幅が広いことや、ICTなどの新しい技術を積極的に取り入れている企業が多いことを知りました。また、「建設ディレクター」という聞き慣れない職種の募集があったことも印象に残り、建設業や中田組に興味を持つようになりました。

## Q2

**仕事のやりがい、楽しいと感じることは？**

まだできる業務は多くありませんが、現場写真の撮影や書類作成を行う中で、自分なりに「より良くするにはどうすればいいか」を考えて工夫しています。その結果、「よく撮れているね」「見やすくて助かる」と声をかけてもらえると、とてもやりがいを感じます。

## Q3

**苦労や失敗談、難しいと感じることは？**

先輩や上司の方々がとても優しく、いつも助けていただいているため、今のところ大きな苦労や失敗はありません。入社前は、建設業には厳しい人や怖い人が多いのではないかというイメージがあり、少し不安もありました。しかし実際には優しい人ばかりで、新入社員へのサポートも手厚く、とても働きやすい会社だと感じています。

## Q4

**中田組って、どんな会社ですか？**

入社前は、建設業には厳しい人や怖い人が多いのではないというイメージがあり、少し不安もありました。しかし実際には優しい人ばかりで、新入社員へのサポートも手厚く、とても働きやすい会社だと感じています。

## Q5

**もう少し、こうだったら良いなと思うことは？**

現状でも十分良い環境だと感じているので、特にありません。

## Q6

**就職活動をはじめめる学生へメッセージ**

少しでも興味のあることや「やってみたい」と思うことがあるなら、まずは挑戦してみると良いと思います。「自分にはできないかもしれない」「失敗したら嫌だな」と思うこともあると思いますが、やらずに悩むより、実際に試してみた方が後悔は少ないと思います。たとえ失敗しても、その経験が役に立つこともあるはずです。無理のない範囲で、いろいろなことに挑戦してみてください。

## PROFILE

**S.SUDO** 株式会社 中田組 工務部 建設ディレクター / 2025年入社

現場写真の撮影や書類作成などを担当。  
ICTなど新しい技術にも興味を持ちながら、現場を支える仕事に取り組んでいる。

Work with warmth. Move with purpose.

## PEOPLE INTERVIEW

Storise of who are.

INTERVIEW 02 | 若手を育てる上司の想い：Y.SUZUKI

静かな努力が、  
確かな成長につながっています。

### Q1. 入社当初と現在の印象は？

当初は業務安全推進部への配属予定だったため、面接で直接お会いする機会はありませんでした。現在は総務部に配属され、専務室対応や電話対応などを担当しています。

入社当初は少し声が小さく聞き取りづらいこともありましたが、最近は朝の挨拶をはじめ、はっきりとした声で話せるようになり、会社にも慣れてきた感じが感じられます。この1年で、着実に成長している姿が見られます。

### Q2. 新入社員を一言で表すと？

「月」のような存在です。

控えめで落ち着いた雰囲気があり、穏やかな印象があります。向かいの席にはとても明るい「太陽」のような性格の社員がいるのですが、その対比もあり、よりそう感じるのかもしれません。

### Q3. この1年でとくに頑張ったことは？

入社して最初に大きな壁になるのは、やはり電話対応だと思います。

社内の社員の名前を覚えること、初めて聞く会社名に対応すること、用件を聞いて誰に取り次ぐか判断することなど、想像以上に難しい業務です。

その中でも、臆することなく電話対応に取り組んでおり、一生懸命さが伝わってきます。業者名の聞き取りなどで迷うこともありますが、そうした経験を積みながら着実に力をつけているところです。



### Q4. これから期待していることは？

職場には年齢の離れた上司や先輩も多く、この1年は距離を感じることもあったと思います。

これからは、自分から積極的に声をかけながらコミュニケーションをとり、信頼関係を築いていってほしいと思います。

「この人に任せれば安心」と思ってもらえる存在になってくれることを期待しています。

### Q5 本人へメッセージ

入社以来、真面目に仕事に向き合っている姿が印象的です。

これからも自分らしさを大切にしながら、少しずつ自信をつけていってほしいと思います。周りには頼れる先輩も多いので、遠慮せずに相談しながら成長していきましょう。

いつもおじさんの冗談に笑ってくれて、ありがとう。そんな素直なところが素敵です。

魚の骨は気を付けるように！

#### PROFILE

**菅原 常務** Y.SUGAWARA

総務・経財部 / 1982年入社

経営陣と社員をつなぐ会社のまとめ役。  
部下へのフォローにも定評があり、カラオケと毎日のヤクルトが欠かせない。

## PEOPLE INTERVIEW

Storise of who are.

INTERVIEW 02 | 若手を育てる上司の想い：S.SHIDA

元気と真面目さがあれば、  
必ず成長できる。

「新入社員は、未知なる存在。」

### Q1. 入社当初と現在の印象は？

面接のときから元気いっぱい、明るくはきはきと受け答えをしていたのが印象的でした。

スポーツマンらしい、エネルギッシュな雰囲気を感しました。

### Q2. 入社1年で成長したと感じる場所は？

指示されたことを忘れないように、メモを取るなど自分なりに工夫している姿が見られます。

そうした積み重ねが、少しずつ仕事の理解にもつながってきていると感じています。

### Q3. 新入社員を一言で表すと？

「未知なる存在」です。

新入社員にはこれからたくさんの可能性があります。私自身も、かつて先輩方に育ててもらった立場なので、昔のやり方をそのまま繰り返すのではなく、今の時代に合った形でしっかり育てていきたいと思っています。



### Q4. これから期待していることは？

自分の意見をしっかり伝えること、そして仕事の状況をきちんと報告することを大切にしてほしいと思います。

持ち前の元気さを活かしながら、現場の人たちからも頼られる存在へと成長してくれることを期待しています。

### Q5 本人へメッセージ

元気に、真面目に、一生懸命仕事をしていれば、結果はあとから必ずついてきます。

焦らず、少しずつ経験を積みながら成長していってほしいと思います。

#### PROFILE

**櫛引 部長** O.KUSHIBIKI

業務安全推進部 / 1980年入社

現場の安全管理を担う、頼れる存在。ハードな出張もこなす体力派で、ゴルフ好き。毎週、豆乳をまとめ買いするほどの愛飲家。

## PEOPLE INTERVIEW

Storise of who are.

INTERVIEW 02 | 若手を育てる上司の想い：S.KATAOKA

静かに努力を積み重ね、  
確かな力を伸ばしています。

### Q1. 入社当初の印象は？

面接当初は非常におとなしく、緊張している様子がこちらにも伝わってくるほどでした。控えめな印象でしたが、真面目さが感じられる学生だったことを覚えています。

### Q2. 入社1年で成長したと感じる場所は？

支援業務として、庁舎建設工事と知来別地区防災林造成工事の現場を担当してもらいました。担当現場が決まってからは、現場担当者と積極的にコミュニケーションを取り、分からないことがあればその都度質問しながら仕事を進めています。最近では自分の意見も伝えられるようになり、大きな成長を感じています。

### Q3. 新入社員を一言で表すと？

「静かに成果を積み重ねる実力派」です。工事書類のマニュアル作成など、細かな作業にも高い能力を発揮してくれています。

### Q4. この1年でとくに頑張ったことは？

人前で話すことが苦手だと聞いていましたが、インターンシップの対応では自ら説明資料を作成し、参加者に向けて分かりやすく講義を行っていました。また、ペーパードライバーに近い状態だったにもかかわらず、現場へ向かう際には運転にも挑戦してくれました。本人にとっては大きな挑戦だったと思いますが、よく頑張ってくれました。



### Q5. これから期待していることは？

今年度は稚内工事部の現場支援業務を中心に取り組んでもらいましたが、来年度は利尻工事部からの業務にも積極的に関わっていく予定です。その中で、現場担当者から「頼りにされる存在」へと成長してほしいと思っています。また、新入社員向けの工事書類マニュアルの作成にも取り組んでいるので、身近な先輩として後輩を支えてくれることを期待しています。

### Q6. 本人へメッセージ

あっという間の一年だったと思います。初めて見る工事書類の多さに戸惑うこともあったと思いますが、現場担当者とコミュニケーションを取りながらよく頑張ってくれました。来年度はさらにステップアップできるよう、焦らず一つひとつ確実に力をつけていってほしいと思います。

#### PROFILE

#### 南部長

Y.MINAMI

工務部・工事部 / 2011年入社

穏やかな人柄で部下から慕われる“穏やか番長”。実は仕事への情熱も人一倍で、面倒見の良さは社内でも評判。ビールをおいしく飲むため、毎日のウォーキングを欠かさない。

## PEOPLE INTERVIEW

Storise of who are.

INTERVIEW 02 | 若手を育てる上司の想い：S.SUDO

着実な仕事ぶりで、  
周囲からの信頼を積み重ねています。

### Q1. 入社当初の印象は？

とても落ち着いていて、自分の考えをしっかりと持っている印象でした。物事を冷静に考えながら行動できるタイプだと感じました。

### Q2. 入社1年で成長したと感じる場所は？

支援業務として、庁舎建設工事と稚咲内漁港水産物供給基盤工事の現場を担当してもらいました。担当現場が決まってからは、現場担当者と積極的にコミュニケーションを取り、分からないことは質問しながら自分の意見も伝えられるようになりました。

### Q3. 新入社員を一言で表すと？

「安定感で信頼を得る堅実派」です。自分が納得してから作業を進めるタイプで、ミスが少ないのが大きな強みです。

### Q4. この1年でとくに頑張ったことは？

現場の進捗管理として、ドローンを使った進捗写真の撮影を担当しました。高度やカメラ角度などを自分で調べながら調整し、常に同じ定点から撮影できるよう工夫してくれました。現場からも好評でした。また、工事書類の様式について、ExcelのVBAを使ってプログラムを作成してくれたことで、今後の書類作成の効率化にもつながっています。

### Q5. これから期待していることは？

来年度は利尻工事部からの業務にも関わっていく予定です。その中で、現場担当者から頼りにされる存在へと成長してほしいと思います。説明がとても上手なので、来年度入社する新入社員にとって身近で頼れる先輩になってくれることを期待しています。

### Q6. 本人へメッセージ

あっという間の一年でした。初めての工事書類や現場業務に戸惑うこともあったと思いますが、現場担当者とコミュニケーションを取りながらよく頑張ってくれました。来年度はさらにステップアップできるよう、焦らず一つひとつ確実に身につけていってほしいと思います。



## 建設ディレクター



INTERVIEW 04 | 初の建設ディレクターを迎えた現場

2025年度、初めて導入した  
建設ディレクターという職種。  
どのような活躍だったのか。

ゼロから生まれた、  
新しい仕事

建設ディレクターとは、現場技術者の業務をサポートし、書類作成や施工管理の補助などを通して現場全体の仕事を円滑に進める役割を担う職種です。

多くの企業では、現場経験者や事務経験者が担うことが多いこの仕事。当社では2025年度、新卒社員2名を建設ディレクターとして採用しました。

ゼロから工務部を立ち上げ、始まった新しい挑戦。入社から1年、2人はどのように現場と関わってきたのでしょうか。

建設ディレクターを初めて受け入れた現場担当者に話を聞きました。

PEOPLE  
INTERVIEW

## INTERVIEW 03

社長が思う、  
これからの会社

採用活動には、自らが積極的に参加する中田社長に  
4名の1年について、聞いてみました。

4人の成長を、どう見ていますか？

面接のとき、4人それぞれ印象的な姿がありました。

鈴木さんは、とても大人しい印象でした。でもその中に「この会社に入りたい」という強い意志を感じました。片岡さんは、とにかく緊張していましたね（笑）。こちらまで緊張が伝わってくるほどでした。インターシップのときの表情とはまた違っていて、そのギャップが印象に残っています。須藤さんは冷静沈着という言葉がぴったりでした。自分の考えや想いを、しっかりと自分の言葉で伝えてくれましたね。志田さんは、緊張している中でも愛嬌のある笑顔がとても印象的でした。いつも通りの自然な笑顔で受け答えをしてくれました。

4人とも共通していたのは、会社のことをよく調べて面接に臨んでくれたこと。そして、緊張しながらも自分の言葉で想いを伝えてくれたことです。それがとても嬉しかったですね。

これから、期待していることは？

まずは部内で遠慮せず、自分の考えや意見をしっかりと伝えられる存在になってほしいと思っています。そして、もう一つ。

今年は新しく4名の新入社員が入社します。皆さんにとっては初めての後輩になりますね。新入社員に一番近い先輩として、ぜひ支えてあげてほしいと思います。

4人へメッセージをお願いします。

まずは、1年間おつかれ様でした。初めての社会人生活で、慣れないことも多かったと思います。年齢の離れた社員（おじさまやおばさまが多め）との会話や、仕事以外の雑談に戸惑うこともあったかもしれませんが、それでも、仕事を覚えようとする姿勢や、先輩社員と真剣に話をしている姿を見るたびに、「みんな頑張っているな」と嬉しく思っていました。

4月からは2年目になります。あまり気負わず、これからも自分のペースで成長していってください。

これからの活躍を楽しみにしています。

## — PROFILE —

株式会社 中田組 代表取締役社長  
令和5年6月就任

前職の異業種での経験に加え、商工会議所青年部でさまざまな業界の人と関わる中で、広い視野を培う。社長就任後は、その経験を活かして、社内の風通しのよさをさらに高めている。社長とは思えないほどの気さくな人柄が最大の魅力。

# 建設ディレクターと働いて、感じた変化とは？

2025年度、当社で初めて導入された建設ディレクター。現場で受け入れた横山課長と酒井主任にお話を伺いました。

Q1 入社・配属当初の印象と、1年経った現在の印象を教えてください

**横山** 「入社当初は、現場で直接関わる機会が少なかったため、あまり印象を持つことができませんでした。ですが1年経った今は、仕事に対してとても熱心に取り組んでいる姿が印象に残っています。」

**酒井** 「今年度から建設ディレクターという職種を導入することになり、前年度の段階から願っている業務についてはある程度考えていました。ただ、現場に出て施工管理を担当する立場とは違うため、仕事を覚えるのは大変だろうと思っていました。そのため、徐々に仕事を覚えてもらいながら少しずつ業務量を増やしていければと考えていたのが当初の印象です。ですが実際には、想定していた以上の仕事量を担当してくれました。そのおかげで現場担当者の業務負担が減り、残業時間の減少にもつながりました。現場担当者が施工に関する業務に集中できるようになり、現場もスムーズに進めることができたと感じています。」

検定の際にも参考資料として活用できるようになり、書類管理の効率も向上しました。自社の書類の電子化が進んだことも大きな変化だと感じています。」

**酒井** 「ドローンで工事の進捗に合わせて空撮をしてくれたため、現場事務所に掲示する写真を随時更新することができました。その結果、工事の進捗状況が分かりやすくなり、下請け業者との打ち合わせもやすくなりました。また、インタースhipの対応を担当してくれたことで現場担当者の負担が減り助かりました。書類の電子化も進み、ペーパーレス化につながった点も大きな変化だと思います。さらに、現場事務所の掲示物の作成や掲示など、細かい作業を担当してくれたことも現場としては非常に助かりました。」

Q4 この1年で特に成長したと感じる点はどこですか？

**横山** 「工事の流れや内容を理解できており、わかりやすい書類を作成できるようになりました。また、新入社員に向けた説明資料なども作成しており、着実に成長していると感じます。」

**酒井** 「基本的な書類作成の力やドローン操作など、業務面での成長はもちろんですが、今年度は学生インタースhipの担当も任されていた。学生に説明する資料も丁寧で分かりやすく、充実したインタースhipになったと思います。また、分からないことを自分たちで調べて書類を作成する力や、積極的に質問・意見を伝えてくれる姿勢もあり、コミュニケーションが取りやすい点も印象的でした。」

Q2 現場では、どのような業務を任せましたか？

**横山** 「主に書類作成や資料整理など、現場業務を支える仕事を担当してもらいました。例えば、ドローンによる写真撮影や施工体制台帳の整理、出来形関係の書類作成、品質管理資料の整理などです。また、産業廃棄物関係の書類管理や安全書類の作成補助、試験成績書や安全書類の電子化なども担当してもらいました。現場に必要な書類を整理し、管理しやすい形に整えてくれています。」

**酒井** 「ドローンによる空撮・安全書類の作成・施工管理に関する書類作成・紙書類の電子化・工事写真の整理・測量の補助・現場事務所の掲示物の準備や掲示」などを担当してもらいました。」

Q3 建設ディレクターがいることで「助かった」「効率が上がった」と感じたことはありますか？

**横山** 「これまで自分で対応していた書類関係の仕事を任せることができたことで、自分の時間を確保できるようになりました。また、紙で保管していた書類を電子化してもらったことで、

Q5 今後さらに伸ばしてほしいこと、期待していることを教えてください

**横山** 「工事を受注した段階で、必要な書類作成を先回りして進められるようになると、さらに現場の助けになると思います。また、今後はCADも活用できるようになり、出来形図や数量算出などの作成にも関わってくれることを期待しています。」

**酒井** 「来年度以降は担当する現場を増やし、今年度経験できなかった書類や業務も覚えていくてほしいと思います。さまざまな現場を経験することが、本人たちの成長にもつながるはずです。また、BIM/CIMや3Dデータの作成なども覚え、今後の現場で活用していただくことを期待しています。」

Q6 まだ建設ディレクターと一緒に仕事をしていない現場担当者へメッセージをお願いします

**横山** 「工事の内容や発注者によって必要な書類は変わってくるため、最初は丁寧に説明することが大切だと思います。建設ディレクターに書類作成を任せると、現場担当者の業務負担も軽減されます。ぜひ一緒に働きながら、働き方改革を進めていきましょう。」

**酒井** 「さまざまな現場担当者と関わることで、本人たちにとっても大きな学びになると思います。ぜひ現場でいろいろなことを教えてあげてください。」

現場を支える、新しい力。  
それが、建設ディレクターという働き方。

稚内工事部  
横山課長

## PROFILE

株式会社 中田組 工事部 1996年入社  
陸上・海上とさまざまな工事を担当し、特に海上工事に携わることが多い。利尻での勤務経験もあるベテラン社員。準備を怠らない慎重派で、優しい人柄の持ち主。

稚内工事部  
酒井主任

## PROFILE

18歳で入社し、稚内工事部で経験を積む。2026年からは後輩も入社予定。現在は若手社員の研修担当として奮闘中。穏やかで丁寧な指導が好評。



4人の成長を見守った1年

## EDITORIAL NOTE

人との出会いが、働く理由になる。

私が作成しました！  
4人のメンターです。／株式会社 中田組  
総務部 採用担当  
定免 菜々 | 2019年入社

私が採用活動を担当するようになって、3年が経ちました。これまで採用前から関わってきた学生たちが、実際に入社してくれるようになり、「メンター制度を導入したい」と考えるようになりました。

私が新卒で入社したのは、大手アパレルメーカーです。そこでは「シスター制度」と呼ばれるOJT制度があり、年齢の近い上司が1年間、仕事を教えてくれました。面談の機会も多く、半年に一度は評価を受ける仕組みでした。当時、私は札幌の短大に通っていたため札幌勤務を希望していましたが、配属先は東京。北海道にはそのブランドの店舗がなかったのです。何度か遊びに行ったことはありましたが、友人もおらず、とても心細いスタートでした。それでも、配属先の店舗の皆さんは本当に温かく、20歳で親元を離れて働く私をいつも気にかけてくれました。

商品をうまく販売できず、たった1年の間に何度も辞めたいと思いましたが、上司や先輩が支えてくれたからこそ続けることができたのだと思います。その後、別の店舗へ異動し、サブ店長として働くことになりました。同期が次々と昇格する中で、なかなか成果を出せない私を見捨てず、支え続けてくれた店長がいました。もしあの店長でなければ、私はとっくに辞めていたと思います。

そして自分が店長になったとき、私は部下をうまく支えることができませんでした。その後、店舗の閉店をきっかけに退職を決めました。当時の私には、「この人のために働きたい」「この人と一緒ならもう少し頑張りたい」と思える存在がいなかったのです。

その後、ご縁があって中田組へ入社しました。事務の経験も、建設業の経験もない状態でのスタートです。正直なところ、最初は長く働くつもりはなく、また接客業に戻ることも考えていました。ですが採用担当や広報活動に関わるようになり、仕事はどんどん楽しくなりました。経理の知識がなかった私が建設業経理士の資格を取得し、建設業を知らなかった私が建設ディレクターの資格も取得しました。とても充実した毎日です。

そしてここでも、やはり支えてくれたのは「人」でした。入社したばかりの頃は総務部の皆さんが気にかけてくれ、電話に出るようになると現場の方々も声をかけてくれるようになりました。社長や専務も、よく話を聞いてくれます。私はとても恵まれた環境で働いています。だからこそ、就職活動をしている学生には「会社や仕事内容と同じくらい、一緒に働く人を見てほしい」と伝えています。

どんなにやりたい仕事でも、一緒に働く人との関係がつかなくなれば続けることは難しいと思います。反対に、仕事内容に悩むことがあっても、周りに素敵な人がいれば頑張りが続けられるのではないのでしょうか。そんな思いから、新入社員のメンターを務めたいと考えるようになりました。初めての取り組みだったため理想通りにいかないこともありましたが、今回のインタビューを通して4名の成長を感じることができ、とても嬉しく思っています。まるで親のような気持ちです。

これからも採用活動を通して「人」を大切にしていきたいと思っています。中田組で働く人たちのことを知ってほしい、実際に会ってみてほしい。そんな思いを込めて、この冊子を作成しました。

もし少しでも気になった方がいれば、ぜひ一度、中田組の人たちに会いに来てください。皆さんとお会いできる日を、楽しみにしています。

## Information



INSTAGRAM



CORPORATE SITE



OFFICIAL LINE



RECRUIT SITE